



Log Partition Monitoring の設定

Log Partition Monitoring は、設定済みの次のしきい値を使用して、1 台のサーバ（またはクラスタ内のすべてのサーバ）上のログパーティションのディスク使用状況を 5 分ごとにモニタします。

- **LogPartitionLowWaterMarkExceeded** (ディスク使用率 %): ディスク使用率が指定のパーセンテージを超えると、LPM はすべてのアラームメッセージを syslog に送信し、RTMT Alert Central にアラートを送信します。ログファイルを保存し、ディスクスペースを回復するには、RTMT の Trace and Log Central オプションを使用できます。
- **LogPartitionHighWaterMarkExceeded** (ディスク使用率 %): ディスク使用率が指定のパーセンテージを超えると、LPM はすべてのアラームメッセージを syslog に送信し、RTMT Alert Central にアラートを送信します。

Log Partition Monitoring の有効化

Log Partition Monitoring を有効にするには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** Cisco Unified CallManager Serviceability で、[Tools] > [Control Center - Network Services] の順に選択します。
- ステップ 2** [Server] ドロップダウン リスト ボックスから、ディスク使用状況をモニタする対象のサーバを選択します。
- ステップ 3** [CM Services] の下で、Cisco Log Partition Monitoring Tool (LPM) の状況を確認します。
- ステップ 4** LPM が実行されていない場合は、[Cisco LPM] の横のオプション ボタンをクリックし、[Start] ボタンをクリックします。

Log Partition Monitoring の設定

Log Partitioning Monitoring を設定するには、[Alert Central] で、LogPartitionLowWaterMarkExceeded アラートおよび LogPartitionHighWaterMarkExceeded アラートのアラート プロパティを設定します。P.8-4 の「アラート プロパティの設定」を参照してください。

追加情報

P.13-2 の「関連項目」を参照してください。

関連項目

- 『Cisco Unified CallManager Serviceability システム ガイド』の「[Log Partition Monitoring](#)」
- [RTMT でのアラート設定](#)
- [RTMT のトレース収集とログ集中管理](#)